

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等	備考
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者の経営基盤強化を主たる目的に各種施策のPRや金融・経営・労働等の相談指導業務を行う。小規模事業者が抱えている経営改善や事業を効果的に実施する。	巡回窓口指導企業数 ・1,157社(内非会員150社) 巡回窓口指導件数 ・1,738社(内非会員174社) 課題解決提案件数 ・79件 経営革新承認件数 ・4件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導件数 (達成度 96.6%)	1,800	1,738	指標 課題解決提案件数 (達成度 87.8%)	90	79	エリア別に地域内小規模事業者の担当を決め、効率化を図り計画的に巡回を実施することにより、事業者のニーズを的確に把握することができ、効果的な事業の展開が図れた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	小規模事業者のニーズ把握に努め、提案から成果につながる巡回指導を中心とする巡回に重点を置き、相談支援体制の充実を図る。	
記帳継続指導	小規模事業者の税務申告等の事務手続きを支援し、健全な記帳事務と適正な申告納税指導を実施する。	記帳指導職員12名を配置して指導体制を充実。 ・指導対象者数 380人 ・指導延日数 2,614日 ・指導延回数 6,533回	小規模事業者	指標 指導日数 (達成度 91.1%)	2,868	2,614	指標 指導延回数 (達成度 98.1%)	6,660	6,533	青色申告事業者を中心に納税知識の重要性を説明し、日々の記帳や決算・確定申告事務等の相談、支援を奨励し積極的に健全経営のサポートを行った。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 両方下げる 実施方法 両方現行どおり	消費税改正等に対し迅速な対応と的確な支援を実施するため、職員の実質向上に努める。	
講習会等	中小企業・小規模事業者の経営支援を目的に事業承継や従業員等の資質向上を目的とした講習会を開催。小規模事業者の経営課題解決を目的に、専門家による個別並びに定例相談を随時開催する。	集団：理容・美容・経営革新計画作成、女性起業70%の講習会 ・8回開催 受講者数148人 ・9回経営革新1回7人 個別：専門家による個別専門相談(金融、税務、法律、労務、環境、販促発明特許、自社保、行政書士、女性起業70%) ・188回開催 受講者数503人 ・合計 196回 651人	小規模事業者	指標 集団講習会参加者数 (達成度 123.3%)	120	148	指標 個別講習会参加者数 (達成度 79.7%)	631	503	業種別の集団講習会、税理士や社会保険労務士等の個別講習会により、中小企業・小規模事業者全体の技術力向上や製品等の付加価値が一層高まり、経営基盤強化が図られた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	「理容・美容」の集団講習会は、業界の要望も強く実施予定。 金融、税務等の個別相談も前年度通り実施予定。	
GREEN-EDI(企業間受発注システム)の普及促進	中小企業・小規模事業者の人手不足に対応する手段として、従来電話やFAXで行っていた受発注業務を電子化することにより業務の時間短縮や人的ミスを軽減することができ、業務の効率化が図られ生産性の向上が推進される。	「地域中核企業創出・支援事業」補助金を活用してGREEN-EDI(企業間受発注システム) 豊田商工会議所モデルを豊田市内の中小企業・小規模事業者への導入を積極的に展開 導入件数 10件	中小企業・小規模事業者	指標 導入件数 (達成度 40.0%)	25	10	指標 (達成度 %)		中小企業、小規模事業者の人手不足に対応する手段として、GREEN-EDIを豊田市内企業を中心に普及促進を図った。一部の企業において時間短縮や人的ミスを軽減することができ、業務の効率化が図られた。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 実施方法 廃止する	三年度の間、国庫補助を受け事業実施。新年度より民間企業が実施主体として推進する。		
経営安定特別相談	中小企業・小規模事業者の経営危機を未然に防止するため、再生見込みのあるものは回避策を見込めない場合は円滑な整理を図ることを目的に特別相談事業を実施する。	経営指導員と弁護士、中小企業診断士、税理士等が連携することで相談体制を充実 ・個別相談 0回 0人	小規模事業者	指標 個別指導事業者数 (達成度 0.0%)	3	0	指標 (達成度 %)		経営課題解決対応への乏しい小規模事業者に対し、専門家の支援体制を整えたものの、景気拡大を受けて金融機関の積極的な貸付姿勢や弁護士会独自の支援制度もあって当所への相談は無かった。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 D 目標達成度 D	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	前年度に引き続き、専門家並びに行政や金融機関と連携を密にし、各種施策を積極的に展開する。		
若手後継者等育成事業(青年部・女性会)	地域中小企業に携わる若手、女性経営者及び後継者の自己研鑽、啓発事業を通して経営者としての資質並びに経営能力の向上を図る。	青年部 全国大会1回、会長研修会1回、東海707大会1回、YEGDAY(愛知県連)1回、研修事業4回、交流事業2回、地域活性化事業(産業フェア2018)1回 計11回 女性会 全国大会1回、三河サミット1回、視察研修事業1回、地域活性化事業(産業フェア2018)1回 計4回	小規模事業者	指標 青年部開催回数 (達成度 122.2%)	9	11	指標 女性会開催回数 (達成度 80.0%)	5	4	若手後継者や女性経営者に対し、研鑽事業等を計画的かつ積極的に実施したことにより、経営者としての能力向上が図れた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 ①上げる②下げる 実施方法 両方現行どおり	若手後継者や女性経営者向けの研修会、講習会を開催し、さらなる資質向上を目指す。	
地域振興事業	地域振興事業を実施し、地域内外へのPR及び商取引向上の場を提供することにより、豊田市全域の活性化に寄与する。中小企業・小規模事業者の「ものづくり」の本拠地として存続していく上で技術力の強化と高度な人材育成、自動車に次ぐ産業の育成も含めた産業振興策を推進する。市内小規模事業者が生産・販売している豊田らしさのある食品加工等をWebサイトにて紹介・販売し、販路拡大・集客を支援する。	「とよた産業フェア2018」の開催 9月22日(土)23日(日) ・出店者数 201社 ・来場者数 122,000人 「第10回とよたビジネスフェア」の開催 3月21日(木)22日(金) ・出展者数 120社 ・来場者数 4,100人 「豊田おいでんまつり」への協力 「とよたイノベーション」活用促進 ものづくり人材育成・経営相談等444社 「豊田ものづくりアワード」制度の積極的運用 ・申請 18件 認定 7件 IWE LOVE とよたフェア」 ・出店件数 32件 市内6商工会と連携して「とよたの特産品展」を開催	小規模事業者	指標 産業フェスタ来場者数 (達成度 101.7%)	120,000	122,000	指標 ビジネスフェア来場者数 (達成度 82.0%)	5,000	4,100	産業フェアは、豊田市経済圏の産業並びに経済活動等を市民に紹介した。また、とよたビジネスフェアは、製造業を中心に製品・技術の展示商談会を開催することで豊田市産業の活性化を図った。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	「とよた産業フェア2019」は、2019年8月に開催予定。 「第11回とよたビジネスフェア」は、2020年3月開催予定。	
部会事業	10部会(第一商業・第二商業・第三商業・飲食業・第一工業・第二工業・金融業・交通運輸業・建設業・サービス業)にて、それぞれの業界動向や経営問題についての調査、研究、情報交換を行い交流を深めることを目的に事業を推進。異業種交流を促進するため青年部の卒業生がRJCを組織している。支所エリアの製造事業者37社が、任意団体(上郷鉄工会)を組織して研修事業等を実施。	・役員会 16回 ・視察研修会 5回 ・講演会・研修会 8回 ・10部会合同セミナー 0回 ・異業種合同事業 7回 ・同業者団体事業 11回 ・計 47回	小規模事業者を含む全会員	指標 開催回数 (達成度 109.3%)	43	47	指標 (達成度 %)		各部会事業は、諸施策の概要情報の提供や視察研修等の実施により、会員相互の情報交換が図れた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 A	目標 上げる 実施方法 現行どおり	部会員の研鑽と交流を深めるため、研修会、視察会等を開催予定。 10部会合同セミナー(経済講演会)を実施予定。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 豊田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価									
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標			
労働保険・福利厚生事業	中小企業・小規模事業者の労働管理をサポート、雇用保険の届出事務や労災保険についての申請、届出、報告に関する事務手続きについて支援する。小規模事業者の事業主、従業員の福利厚生のための健康診断事業を実施。	労働保険指導事業所数 ・534事業所 791事業場 一人親方労災保険 委託件数 143件 健康診断 ・59事業所 355名	小規模事業者	指標	指導事業所数 (達成度 95.4%)			指標	一人親方労災委託件数 (達成度 110.0%)			小規模事業者に対し、労働保険（労災・雇用）制度の周知を図るとともに、事務処理等を支援することによって企業経営をサポートした。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	小規模事業者等を対象に健康診断は例年どおり実施予定。労働保険と一人親方労災保険のPRに努めて委託数の増加を図る。
				目標数値	560	実績数値	534	目標数値	130	実績数値	143					A		A		必要性	
エコアクション21地域事務局	環境への取り組みが企業経営に積極的に求められている現状を踏まえ、ISO14001に比べて認証登録費用、コンサルタン費用が安価であるため、小規模事業者も環境への取り組みが出来る認証・登録制度。エコアクション21の認証を取得することにより、取引先の信頼を得、自社のコスト削減と併せて企業経営の付加価値を高めることができる。	中小企業相談所職員2名を配置して、判定委員6名と連携して認証取得を支援。 ・判定委員会 ・認証取得研修会 ・環境経営相談 ・740-747相談 ・認証取得支援セミナー ・新規認証・登録事業者目標数 20事業者	中小企業・小規模事業者	指標	新規登録事業者数 (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			地域内外の中小・小規模事業者等に環境経営マネジメントシステムの導入並びに申請手続き等の支援を行い、環境に対する企業経営のサポートが実施できた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	企業のコスト削減と付加価値を高める環境経営マネジメントシステムを推進する。
				目標数値	20	実績数値	20	目標数値		実績数値						A		A		必要性	
O B人材マッチング事業	企業OB（アドバイザー）の持つ豊富な実践経験を持つ企業等のOBが中小企業・小規模事業者に対し技術力の向上、技術開発、営業販売、生産管理等広範多岐にわたり課題解決に向けアドバイスを行う。 ・巡回件数 35件	豊富な実践経験を持つ企業等のOBが中小企業・小規模事業者に対し技術力の向上、技術開発、営業販売、生産管理等広範多岐にわたり課題解決に向けアドバイスを行う。 ・巡回件数 35件	中小企業・小規模事業者	指標	PR巡回件数 (達成度 35.0%)			指標	(達成度 %)			地域内外の中小・小規模事業者等に対し、豊富な実践経験を活かしてのOBが技術力の向上や技術開発等に多岐にわたり支援を行い、健全な企業経営のサポートが実施できた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	引き続き企業ニーズに合致した巡回活動を展開していく。
				目標数値	100	実績数値	35	目標数値		実績数値						C		A		必要性	
創業サポートセンター事業	新規創業や第二創業に向け事業計画の策定や融資書類の作成指導等細部にわたり伴走支援を展開している。創業に係る様々な課題に対応すべく専門家や行政、金融機関との情報交換、連携を緊密に図り、情報提供や啓発活動をするためのセミナーを開催する。	創業サポートセンター専任スタッフ配置による創業支援体制の充実。 ・相談件数 530件 ・新規相談件数 109件 ・創業計画の策定 42件	小規模事業者	指標	相談件数 (達成度 662.5%)			指標	新規相談者数 (達成度 218.0%)			創業予定者に対し、経営のノウハウや様々な開業準備へのアドバイスを行い、開業に向け、円滑な支援につなげることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	豊田市や金融機関との連携、協力により、効果的な創業塾等のセミナーを開催予定。
				目標数値	80	実績数値	530	目標数値	50	実績数値	109					A		A		必要性	
各種検定等支援事業	中小企業・小規模事業者の人材育成支援として各種検定試験等の説明、PRを実施する。小規模事業者が事業を営んで行くために必要と思われる簿記・販売士・珠算・実務法等の検定試験を開催。	簿記3回、販売士2回、珠算3回、A7-CO2、4-N-2回、ビジネス実務法2回、福祉住環境コーディネーター2回、eco2回計16回	中小企業・小規模事業者	指標	開催回数 (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			各種検定事業を実施し、人材育成の一環として、労働者の資質向上を目指すことにより、中小・小規模事業者等の支援をすることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	小規模事業者等の経営者・従業員他を対象に各種検定事業を実施することで中小・小規模事業者等の人材育成を支援していく。
				目標数値	16	実績数値	16	目標数値		実績数値						A		A		必要性	
会報の発行事業	国、愛知県、豊田市の諸事業・諸施策について、経営情報の乏しい中小企業・小規模事業者に最新の情報を発信する。	豊田商工会議所会報を毎月発行。 ・会報発行部数 6,300部	中小企業・小規模事業者	指標	会報発行部数 (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			有益な補助金制度や各種セミナーの開催等の情報を提供することにより、中小・小規模事業者等の企業経営の活力向上に寄与できた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	会報誌を通じて中小・小規模事業者等の経営改善に資する情報を提供し、併走型支援を実施していく。
				目標数値	6300	実績数値	6300	目標数値		実績数値						A		A		必要性	
調査・広報事業	当地区内の中小企業者の景気状況を把握し、今後の施策や指導に役立てる。早期景気判断等を依頼及び回収し、現状の景気を把握。回収したデータを分析・公表するとともに必要な諸施策を検討し、効果的かつ効率的な指導に繋げる。	毎月250事業所を対象に、売上・仕入・業況・資金繰り等の現在の状況と今後の見通し、経営課題や現在の問題点について調査を実施。 ・LOBO調査対象企業数 188件 豊田信用金庫と連携して景気実感調査を実施。 ・景気実感調査件数 300件	中小企業・小規模事業者	指標	LOBO調査対象企業数 (達成度 94.0%)			指標	景気実感調査件数 (達成度 120.0%)			景気実感調査やLOBO調査を中小・小規模事業者等を対象に実施することにより、企業の景気感並びにニーズを把握することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	調査事業を通じて得られた情報をもとに、中小・小規模事業者等の活力向上につながる施策を展開していく。
				目標数値	200	実績数値	188	目標数値	250	実績数値	300					A		A		必要性	
青色申告会事業	青色申告の普及と正しい納税指導を目的に豊田税務署管内青色申告会（5支部）の運営を支援。	税務署と連携し、青色申告会会員事業者に対しての税務に関する情報発信や講習会等の実施を支援する。 ・税務講習会 4回 ・税務署長との懇談会 1回 ・確定申告のPR 2回 ・会報発行 2回 ・計 9回 ・会員指導件数 628件	小規模事業者	指標	指導件数 (達成度 96.6%)			指標	事業開催回数 (達成度 112.5%)			e-taxの普及促進を図るとともに税務（特に消費税改正）に関する研修会を開催し、中小企業、特に小規模事業者に対し周知徹底が図れた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	豊田税務署や東海税理士会豊田支部との連携、協力を図り健全な納税の推進を図るとともに消費税改正に伴う中小・小規模事業者等の事務負担軽減に資する事業展開を図る。
				目標数値	650	実績数値	628	目標数値	8	実績数値	9					A		A		必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。